

松江歴史館企画展

松江の町人太助の日常一つらつら、おぼえ日記―

開催要項

江戸時代後期の松江城下に暮らした町人太助は、「大保恵日記」「日記大宝得」などと題した日記を4冊残しました。日々の出来事をおぼえておくため、そして後に伝えるために作った日記帳には、太助40代後半から29年間の生活が記録されています。そこからは、住むこと、食べること、家族のこと、働くこと、喜びと悲しみ、誕生と別れ、神仏に祈り日々を過ごした松江の町人の姿が浮かび上がります。

太助が記した日記は、全てが伝わっているわけではありません。最も古い日記は文政9年(1826)から天保5年(1834)までの出来事を後にまとめたもので、太助が困難に陥った頃を「已後のみせしめ」、つまり再び同じようなことを繰り返さないための戒めとして、飛び飛びに残っているままに書き留めたものでした。他の3冊は弘化5年(1848)から嘉永7年(1854)まで、2年に1冊新調した帳面で、毎日の出来事を記しています。ただし、嘉永3年(1850)の記録が欠けています。

一部欠落はありますが、精緻に綴った4冊の日記は、松江の庶民生活史の宝庫として、松江市の指定文化財になっています。本展では、おぼえ日記を手掛かりに、太助の目を通して、江戸時代の松江の町人の暮らしを紹介します。

1. 会 期
令和8年(2026)7月17日(金)～9月23日(水・祝)
会期日数：69日(開館日数は60日)
開館時間：9時00分～17時00分(最終入場は16時30分)
休館日：毎週月曜日(ただし祝日は開館し、翌平日休館)
2. 会 場
松江歴史館 企画展示室
3. 主 催
松江歴史館
4. 観覧料(予定)
680円
団体(20名以上)は2割引、中学生以下は無料
基本展示室とのセット券の料金は1,030円
5. 担 当 者
松江歴史館 主任学芸員 笠井今日子
住所：島根県松江市殿町279番地
電話：0852-55-5511(直通) FAX：0852-32-1611
E-mail：rekishi@city.matsue.lg.jp